

我がなつかしき、 ふるさとよ

東京天塩会会長 榎木 秀雄

連合会の皆々様、お変わり無く益々のご繁栄、先ずは心よりお喜び申し上げます。

広報部会の皆さんご苦勞様です。皆さんのご苦勞で、この広報で「北海道ここに在り」とあちこちで活躍しております。頼もしき限りであります。

さて、我がふるさと天塩町、昨年は天塩町開基130年、町をあげての祝賀会に参加しました。東京天塩会には平成2年から5年毎に、ふるさと訪問をする決まりがあり、その5年目だったので、催事と日時を合わせて、訪問した。

その一方で氏神様の厳島神社は社殿修復工事に何千万円かの工費が必要で、これまた町内会を中心に町をあげての募金ムード、私も当然ながら議長や議員並みのご奉納に参加した。

話は変わり、訪問者一同は、例年通り町の花、ハマナスの苗をどつさり注文手配してあり、町長も参加して記念植樹をした。面積も1度に1反(300坪)程だが5年前のハマナスが根付いて温かく迎えてくれた気がするのも嬉しい。

更にこの度は、何と言っても役場手配の大型バスが、1人1人から希望を聞き取って町の内外「どこでも巡り」をしてくれたことだ。

動けない友人、知人宅、昔と変わらぬ山、川、野原、道路まで変わったものも、変わらぬものも沢山あって「もう思い残すことはない」と誰かが叫んで、拍手が沸いた。

東京へ出て来て50余年東京天塩会会長7期14年、長かったな〜と気が付いた。

東京天塩会も優秀な若い人達が沢山います。

「花とみどりの美しい夕日の町」と共に「その節」はよろしくお願いいたします。

末筆乍ら皆々様のご多幸をお祈りいたします。

懐かしきふるさとを顧みて

東京天塩会 副会長 久恒 圭

平成22年の秋は、東京天塩会創立30周年、ふるさと訪問「参加者26名」又、天塩町での開基130年の記念祝賀会が行われ、誠に有意義な旅行でした。

それに併せて東京天塩会から、ふるさと天塩町に30万円の寄付をと考え、役員会に計り、全員の賛同を得て、更に個人として杉村正睦氏からも昨年同様10万円のご寄付があり、榎木会長も天塩町開基130年に因んで東京天塩会の顔として、130万円のお祝いをされました。

加えて、又、昨年は、天塩町の氏神様である厳島神社の社殿修復工事があり、町長はじめ町民一体となった募金ムードに榎木会長も参加され、町会議員さん達と肩を並べて、またまた更に100万円の募金(奉納)をされました。

私は会の役員達と計らい、気持ばかりだが、会としても30万円募金に応じました。

日頃から、ふるさとを大事にとの熱い思いから、さすが道産子の心意気であります。東京天塩会は榎木会長を中心に事務局、役員、会員が一体となり、総ての運営行事に前向きに当たっており、ふるさとにすべからず常に協力体制で奮闘しているつもりであり、東京天塩会は、今後も誠実に前向きで、歩みを続け、ふるさと会の発展に寄与して参りたく考えております。

一層のご指導、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

貴連合会の益々の発展を祈念しております。

第2回「企業会員」

との交流会開催

当ふるさと会連合会は、加入ふるさと会の他に北海道の関係企業や団体の支援・協力をいただいで運営活動を進めています。

特に協賛企業には、格別のご支援をいただいでおり、本年は北海道銀行、北海道新聞社、北洋銀行の三社が正式に入会年会費は1万円)いただきましたので「企業会員」は11社になりました。

そこで、昨年に引き続き、今年の6月22日(水)に企業会員の皆様と当連合会の会長・副会長で意見交換と交流会を行いました。

ふるさと会連合会は「郷土・北海道の発展に寄与する」を目的としたボランティア団体であり、その為にも北海道の関係企業や団体の皆さんと力を合わせて有益な活動を進めたく、相互の協力体制を深めて行く必要を感じています。

企業会員 (順不同・敬称略)

- サッポロビール株式会社
- 北海道国際航空株式会社
- 北海道フートフロンティア株式会社
- 株式会社北海道新聞
- 株式会社北洋銀行
- 株式会社北海道銀行
- サッポロ飲料株式会社
- 株式会社まるごと北海道
- 明治記念館
- 北の釐酒造株式会社
- 北の企画室

副会長 森 隆信